

事務事業名	コード	18800	がん検診事業	予算科目	会計	一般	款	4	項	1	目	2	所管課	健康管理課	担当班	予防班
基本施策	5	保健の充実	根拠法令	健康増進法、がん対策基本法									<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業			
施策の展開	12	病気予防対策の充実	戦略事業	56	がん検診事業									<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画		
施策の展開				戦略事業							<input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画					
													<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想			
													<input type="checkbox"/> 主要事業			

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 40 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・悪性新生物(がん)での死亡は、旭市の死因の第1位である。受診者の拡大を図り、早期発見・早期治療によりがん死亡を減少させるため①胃がん検診②子宮頸がん検診③乳がん検診(超音波・マンモグラフィ)④肺がん検診⑤大腸がん検診⑥前立腺がん検診を実施する。具体的には、①胃がん③乳がん(マンモグラフィ)④肺がんは5月～6月(同時実施)、②子宮頸がん③乳がん(超音波)は5月・7月(同時実施)に4会場を回り、集団検診を実施する。⑤大腸がん⑥前立腺がんは、6月～9月に国保特定健康診査と同時に個別検診・集団検診を実施する。 ・平成24年度から検診料金を一部自己負担制とし、胃がん・子宮頸がん・乳がんは500円、大腸がんは200円、前立腺がんは300円を徴収している。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
・胃がん検診は昭和40年、子宮がん検診は昭和42年に開始した。昭和58年に施行された老人保健法に基づき、肺がん・乳がん検診を開始、平成4年から大腸がん検診が追加となり開始する。	がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針、がん対策基本法と根拠法令が変更された。平成20年度から、大腸・前立腺がん検診は集団検診から個別検診、子宮頸がん検診は隔年実施となった。24年度から、肺がん以外は一部自己負担金を徴収するようになり、26年度から、大腸・前立腺がん検診は国保特定健康診査と同時に集団検診も実施している。平成27年3月「旭市健康増進計画」策定。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・「電話で申込みができないのか」「希望の検診日程がとれない」といった意見がある。 ・「検診で早期胃がんが見つかり、治療ができて本当に良かった」という意見があった。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算) 単位:千円		25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1.賃金	718	801	839	676	718	883
2.報償費	2	4	2	2	2	5
3.需用費	1,206	1,837	1,804	1,266	1,206	1,286
4.役務費	3,244	3,433	3,301	3,325	3,244	3,660
5.委託料	80,857	73,671	74,209	75,820	80,857	82,913
② 特定財源の内訳(28年度の決算) 単位:千円		事業費計(A)				
1.国庫支出金	240	79,746	80,155	81,089	86,027	88,747
2.都道府県支出金	0	3,104	1,040	532	240	127
3.地方債	0					
4.その他	0					
		76,642	79,115	80,557	85,787	88,620

前年度増減理由	申込者数と受診者数の増加
---------	--------------

従事職員数	常時	3人	最大	6人	×	44日	=	延べ	264人
-------	----	----	----	----	---	-----	---	----	------

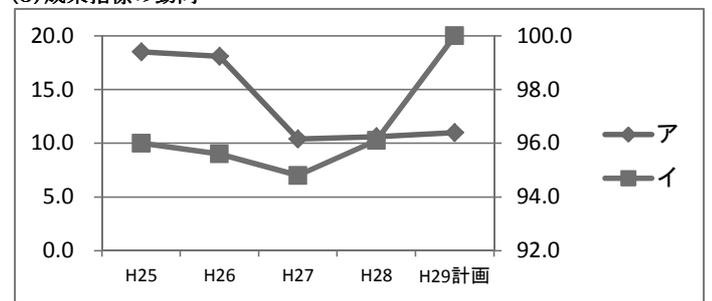
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・子宮・乳房(エコー)検診時に託児実施 ・保育所や乳幼児健診を介して、検診PR ・市内ショッピングセンターで、あさびーと一緒にがん検診のPRと申込み受付実施 ・受診勧奨個別通知、胃がん検診受診意向調査の実施(27年度末)		ア 検診実施日数	日	49	47	45	44	38
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象 ・胃・大腸・肺がんは40歳以上の市民・子宮頸がんは20歳以上の女性 ・乳がんは30歳以上の女性・前立腺がんは50歳以上の男性 意図 ・早期にがんが発見できる ・早期にがんの治療ができる		ア 検診受診率(胃がん)	%	18.5	18.1	10.4	10.6	11.0
	対象意図		イ 精密検査受診率(胃がん)	%	96.0	95.6	94.8	96.1	100.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	大きい	②	評価結果	①	
	普通			②	(5)
	小さい			③	
			④⑤		
			⑥		
			⑦⑧		
			⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> 概ね順調	<input type="checkbox"/> 停滞	<input type="checkbox"/> 実施困難			
② 成果の状況	成果指標A	成果指標I	数値増=成果向上	<input type="checkbox"/> 向上	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 低下		
③ 今年度取組事項	時期	内容	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 見直し		
(29年度に取り組む主な事項について記載)	2月 5、6月	・市内診療所・金融機関へPRポスター掲示 ・レディースデイ(女性専用の複合検診日)の設定 ・託児日の増加	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> その他()			
④ 成果の状況	成果指標A	成果指標I	比較	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(低下の場合、その理由)			成果動向	25年度	26年度	27年度	28年度	29計画
			ア	△0.2	△0.4	△7.7	0.2	0.4
			イ	△1.6	△0.4	△0.8	1.3	3.9